

据付と確認

■据付について

特殊な場所は避けること

- 温泉地、硫黄分の多い所への設置は避けてください
- 海岸近く、塩分の多い所への設置は避けてください

冷却パイプや電装品が腐食し故障の原因になります

風通しの良い所に据付

- 吸排気の前は60cm以上あけること
- プレハブ小屋など換気のない狭い部屋への設置は避けること

水のかからない所に据付

- 雨水の掛かる場所や常に濡れている様な湿気の多い場所は避けること

熱気から離れた所に据付

- 直射日光があたる所は避けること
- コンロ、フライヤーなどの熱機器の近くは避けること

床は丈夫で水に濡れてもよい所に据付

- フローリングやカーペットの床は避けること
- 床の防水設備が施されていない所は避けること

上扉が開閉できるように据付

- 上部に棚などがあり上扉が完全に開かない所は避けること

ストッカーは水平に据付

- 製品は水平に設置すること

運転の前に

■据付工事完了後の確認

- 据付工事が完了しましたら正しく設置されているかをお客様が立ち会いのもと専門業者と一緒に確認をしてください
- 庫内の網棚の付属品が正しくセットされているか確認してください
- 取扱説明書と保証書は必ずお受け取りお客様にて大切に保管してください

運転と停止のしかた

■運転

- 1.専用コンセントの配電ブレーカーが[OFF(切)]になっているかを確認してください
 - 2.専用コンセントに電源プラグを確実に差し込んでください
 - 3.専用コンセントの配電ブレーカーを[ON(入)]にしてください
- 通電後冷却運転が始まりますが庫内が冷えるまでにはしばらく時間がかかりますので、十分に冷えてから冷凍食品を入れて下さい

■停止

- 1.専用コンセントの配電ブレーカーを[OFF(切)]にしてください
 - 2.専用コンセントから電源プラグを抜いてください
- 停止をしてからすぐに運転をすると冷凍機に負担がかかり故障の原因になりますので必ず5分以上あけてから運転を行ってください

上手な使い方

■詰めすぎないこと

- 食品を詰めすぎると上扉が完全に締まり切れず冷気が外に逃げて冷却能力の低下につながります

■扉の開閉は最小限に

- 扉は開放したままにしないでください
- 扉を頻繁に開閉するのは避けてください
- 扉の開閉は出来る限り素早く行ってください

■冷凍食品以外は入れないでください

- 冷凍ストッカーは冷凍食品を貯蔵するためのものですので水を製氷したり常温の食品をフリージングには適していません。他の食品に悪影響を与えたり冷却性能の低下の原因になります

内外装の手入れ

- 製品を長持ちさせ常に清潔にお使いいただくために定期的にお手入れをしてください
- 安全のためにお手入れの際は電源を切ってから行ってください
- クレンザー、酸性水、ベンジン、シンナー等の溶剤類、熱湯等は製品素材を傷めますのでご使用にならないでください
- 製品に直接ホース等で水をかけないでください

■内外装の清掃

- 汚れた場合は中性洗剤を含ませた布で拭いた後ぬれ布巾でしっかりと拭き取り、その後も乾いた布巾で拭きとってください
- 扉のパッキンに調味料などが付着したままにしておくくと早く劣化しますので定期的に清掃してください
- 業務用のアルカリ洗剤は樹脂部品を劣化させますのでご使用にならないでください

庫内霜取りのしかた

■冷凍ストッカーは自動霜取り機能がない為長時間使用していくことで庫内に霜が付着し成長していきますので、以下の手順で定期的に霜取りを行なってください

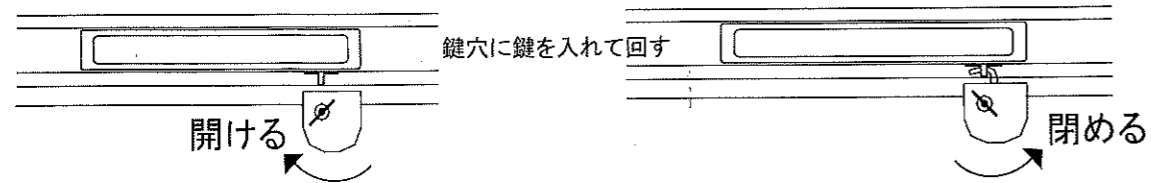
- ① 庫内の冷凍食品を取出し他の冷凍庫に移して下さい
- ② 電源プラグをコンセントから抜いて下さい
- ③ 扉を開けて付着した霜を溶かして下さい
- ④ 霜が完全に溶けたら庫内の排水栓を外して下さい
溶けにくい場合は付属のヘラで霜を取り除いて下さい
- ⑤ 本体背面にある水抜きキャップの下にバットなどを用意して排水受けの準備をして下さい
- ⑥ 本体背面にある水抜きキャップを3cm引き出しキャップを180度回転させて水抜き穴を下方に向けて庫内の水を排水してください
- ⑦ 排水が完了しましたら水抜きキャップを180度回転させて水抜き穴を上方にして本体に押し込んで戻して下さい
- ⑧ 庫内を乾いた布で水分を拭き取って下さい
- ⑨ 電源プラグをコンセントに確実に差し込み冷却運転を行って下さい
- ⑩ 庫内が十分に冷えているのを確認し、移しておいた冷凍食品を入れて下さい

注意:霜取りの時に以下の行為は禁止して下さい

- ① 水や熱湯、ドライヤーなどを使用しない
- ② 先のとがったアイスピックやドライバー、ナイフ等の使用はしない
- ③ 庫内の溜まった水を本体を傾けて排水しない(必ず排水栓から排水して下さい)

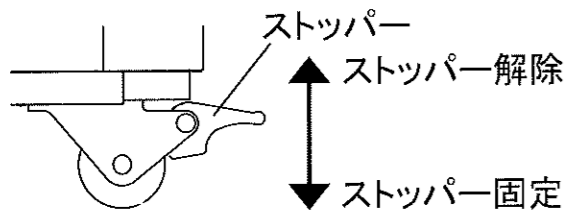
施錠のしかたとキャスターについて

■ 付属品の鍵を使って施錠してください



■ 本体底面には自在式キャスターがついていますので、搬入据付、移動時に使用できます

■ 本体の設置場所が決まりましたら本体が動かないようキャスターのストッパーをかけて固定してください



注意: キャスターは硬質樹脂の為無理に移動させますと床材を痛める恐れがありますので注意してください

このようなときには

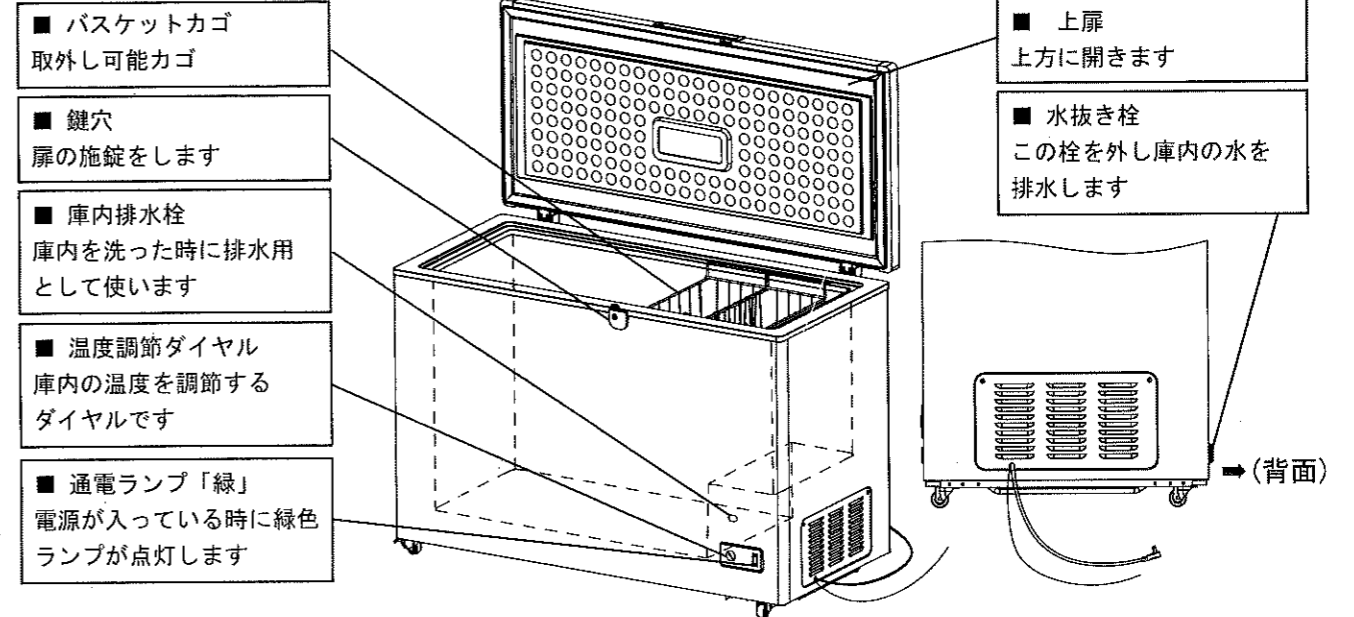
■ 製品に異常が生じた時は次の項目内容をお調べになってからお買上げの販売店にご相談ください

運転しない 全く冷えない	<ul style="list-style-type: none"> ● 停電していませんか ● 電源プラグがコンセントから抜けていませんか ● 配電ブレーカーやヒューズが切れていませんか
よく冷えない	<ul style="list-style-type: none"> ● 温度調節の設定は適切ですか ● 扉はしっかりと閉まっていますか ● 扉の開閉頻度は多くないですか ● 庫内に食品を詰めすぎではありませんか ● 温かい食品を入れていませんか ● 日光の直射を受けていませんか ● まわりの風通しが悪くなっていませんか ● 庫内に霜が着きすぎていませんか
冷えすぎる	<ul style="list-style-type: none"> ● 温度調節の設定は適切ですか ● 周囲温度が5°C以下ではありませんか
霜が付く	<ul style="list-style-type: none"> ● 扉が開いていませんか ● 梅雨時や夏季など湿気の多い日には霜がつくことがあります。これは空気中の水分が冷たい物に触れて霜が付くため故障ではありません。時々布などで拭きとってください
異音がる	<ul style="list-style-type: none"> ● 床はしっかりしていますか ● 製品が水平に据付されていますか ● 製品に他のものと触れ合っていないですか ● キャスターが浮いていませんか

● 本体外板は放熱器を兼ねていますので、熱くなることがありますが異常ではありません

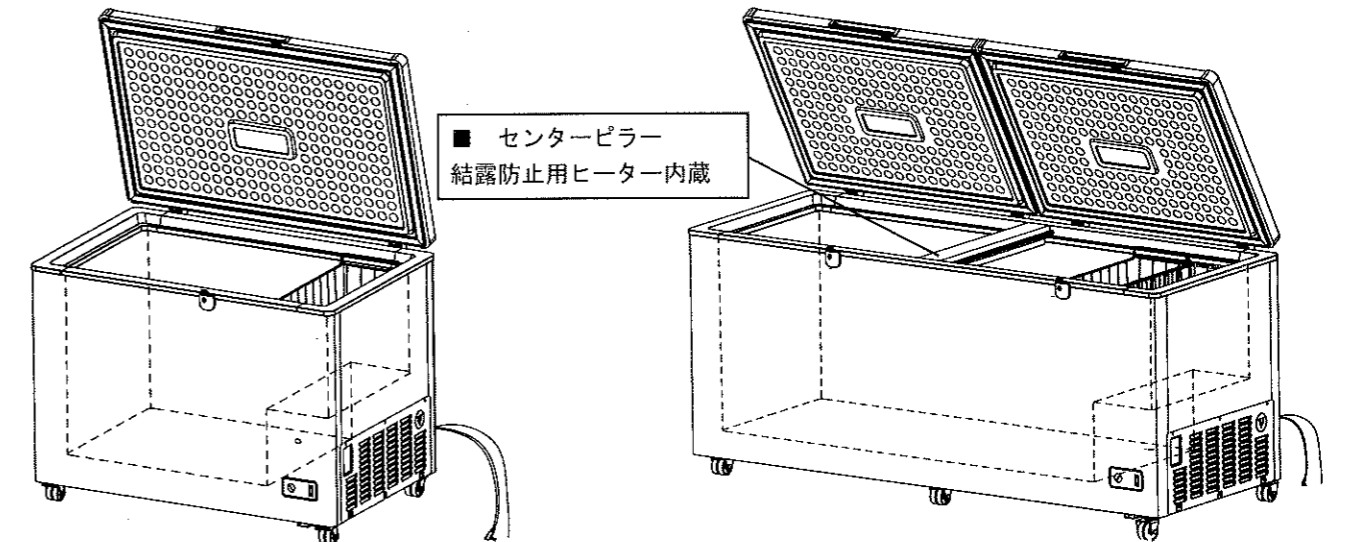
各部の名称とはたらき

・ JCMC-142 ・ JCMC-206 ・ JCMC-266

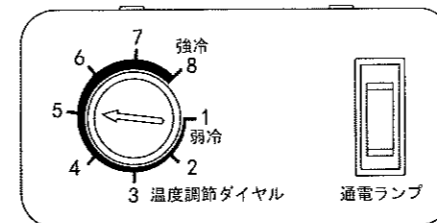


・ JCMC-310 ・ JCMC-385 ・ JCMC-556

・ JCMC-605 ・ JCMC-755 (2枚扉)



型番	JCMC-142	JCMC-206	JCMC-266	JCMC-310	JCMC-385	JCMC-556	JCMC-605	JCMC-755
付属カゴ数	2個	2個	2個	1個	1個	1個	2個	2個
カゴ耐荷重	3kg	3kg	3kg	3.5kg	3.5kg	3.5kg	3.5kg	3.5kg



■ 温度調節のしかた

- ① 電源プラグをコンセントに差し込みますと通電ランプ緑色が点灯します
- ② 温度調節ダイヤルで冷却の強さを調節します

■ 庫内温度の調節目安

- ダイヤル 1～4 : 弱冷
ダイヤル 5 : 通常冷却
ダイヤル 6～8 : 強冷

注意

ダイヤル7、8で1時間以上使用しないで下さい
故障の原因となります (保証対象外となります)

安全上のご注意

△注意

- ⊘ 次のような場所には設置しないこと
 - 交通や防災の支障となる場所
 - 避難経路の妨げとなる場所
 - 消火設備に支障となる場所
 - 排煙設備や防火戸の支障となる場所
 - 法律違反になる場合があります
- ⊘ 電源プラグを抜く時はプラグを持って抜くこと
 - コードを引張って抜くと断線による発熱、火災の原因になることがあります
- ⊘ 食品を一時保存する目的以外では使用しないこと
 - 食品保冷以外の目的で使用されますと保存品の品質低下等の原因になる場合があります
- ⊘ 機械室には手や細い棒等を差し込んだりしないこと
 - 内部にある機械の破損やガス漏れの原因になることがあります
- ⊘ 庫内への物の投入はしないこと
 - 損傷の原因になる場合があります
- ⊘ 本体へ可燃性スプレーや溶剤の使用したり置かないこと
 - 電気系統の火花等で引火したり樹脂部品の損傷の原因になる場合があります
- ⊘ 本体の上部には物をのせない
 - 落下によるケガ、天板の破損等の原因になることがあります
- ⊘ 本体の扉を締める時は本体上部に指をかけないこと
 - 指がはさまりケガの原因となる場合があります
- ① 本体設置の際は周囲の壁から15cm以上開けること
又、本体吸排気部の前は60cm以上開けること
 - すき間がないと冷却能力の低下、故障の原因になります
- ① 車輦、船舶などで設置して使用しないこと
 - 振動、傾きなどにより冷却能力の低下、故障の原因になります
- ⊘ 水に濡れてもよい場所に設置すること
 - 結露や排水の漏れにより床面がぬれる原因となる場合があります
- ⊘ 搬入等で本体を寝かした際はすぐに電源を入れないこと
 - 圧縮機故障の原因になります。電源の投入まで30分以上間を置いてください
- ① 電源プラグを抜いたら次に差すまで5分以上間を置くこと
 - 圧縮機に負担がかかり故障の原因になります
- ⊘ 濡れた手で冷凍庫の中の物を出し入れしないこと
 - 冷凍庫内の食品また庫内のステンレス部分、金属容器に触れると水分が凍結して離れなくなったり凍傷の原因になることがあります
- ⊘ 庫内に熱い食品は入れないこと
 - 熱い物を冷やすと冷却性能の低下、故障の原因になります
- ⊘ 庫内には瓶類や缶類は入れないこと
 - 中身が凍って破裂しケガや損傷の原因になる場合があります
- ① 長期間使用しない時は貯蔵品を取り出し電源プラグを抜くこと
 - 電源プラグにほこりが溜まって発熱や発火の原因になる場合があります
- ⊘ 熱いものを置いたり熱機器の近くには置かないこと
 - 天板の破損や、冷却性能の低下、本体が溶けて発火する原因になる場合があります
- ⊘ 霜取り時アイスピックなど先のとがったものは使用しないこと
 - 冷却パイプを傷つけガス漏れの原因で使用出来なくなります
- ① 環境温度が5℃～32℃以外のところで使用すると故障の原因になります

移設・廃棄・譲渡について

■製品を移設したり譲渡したり不要になった時は

■移設について

- 移設先の設置条件や電源の状況など確認が必要となりますので必ず専門業者にご依頼ください

■廃棄される時

- 廃棄は専門の業者にご依頼ください
- 製品を放置すると幼児が閉じ込められるなど事故の原因になります
- 適切な廃棄を行わない場合違法行為となり罰則が課せられます

■譲渡される時

- 譲渡される時は新たにお使いになる方が安全で正しい使い方を知るためにこの取扱説明書が必要となりますので本体の目立つところにテープで貼り付けてください

■不要になり長期間ご使用にならないとき

- 電源プラグをコンセントから抜いてください
- 庫内の貯蔵品を全て出しカビの発生や臭気がこもらないように庫内を清掃してください

保証について

■保証書

- 当製品には別途「保証書」がついておりますので保証書には必ず「お買い上げ日・販売店名」をご記入になり保証内容をよくお読みになり大切に保管してください

■保証期間中の修理

- 保証期間はお買い上げ日から1年間となっております。保証期間中は保証書記載内容によりお買い上げの販売店が修理いたします

■保証期間経過後の修理

- 保証期間経過後の修理につきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。修理が可能な場合は有償にて出張修理いたします

■お問い合わせについて

- その他アフターサービスについてご不明な場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください

■修理をご依頼される時は次のことをお知らせください

- | | |
|------------------------|-----------------------------|
| ● 製品の型番 | 本体にプレートにて表示しています |
| ● お買い上げ日と製造番号 | 保証書に記載しています |
| ● 故障の状況 | 故障の状況を詳しくお知らせください |
| ● お客さまの「お名前・おところ・電話番号」 | わかりやすくお願いします |
| ● 訪問希望日時 | 営業時間、休業日、ご都合のよい時間帯などお知らせ下さい |

製品保証書

この度は、当社製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本書は、無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げ日から1年間の期間中に故障が発生した場合、本書をご提示の上お買い上げの販売店に修理をご依頼下さい。保証期間終了日の確認は、保証書に記載されています製造番号又は、製品本体の定格銘板の製造番号をお知らせ下さい。

製品名 冷凍ストッカー _____
 製造番号 MODEL: JCMC-206 _____ F1315 _____
 お買い上げ日 _____年 _____月 _____日

お客様住所・お名前	〒 _____	販売店・住所・電話番号 _____
	(電話番号) _____	

保証修理規定をご覧ください。

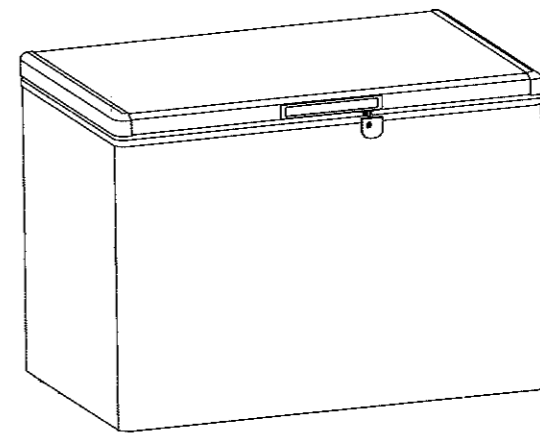
保証修理規定

- 保証について
 - ①正常な使用状態で保証期間中に故障が発生した場合、無料修理又は、製品の交換をさせていただきます。但し、無料修理、交換の保証対応は当社の判断となります。
 - ②保証期間中に製品の交換を行った場合においても、保証期間は最初のお買い上げ日から1年間となります。
 - ③本保証書は日本国内においてのみ有効となります。
- 保証期間内でも下記事項に該当する場合は適用されません。
 - ①ご使用上の誤りまたは当社が認めていない不当な修理や改造による故障及び損傷
 - ②指定する純正部品、又は指定する油脂以外の使用による故障及び損傷
 - ③落下・輸送などによる故障及び損傷
 - ④火災、地震、風水害、落雷、ほこり、ねずみ（小動物）、鳥、くも、ゴキブリ等の侵入、その他天災や、公害、塩害、硫黄害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - ⑤付属品、パッキン等の消耗品。
 - ⑥保証書に型式名・製造番号の記載のないもの又は、保証書が書き換えられた場合。
 - ⑦取扱説明書、本体貼付けラベルの注意書きによる、設置工事、取付工事又は正しいご使用が守られていない場合。
 - ⑧船舶、車両等に設置されて発生した故障及び損傷。
 - ⑨日本国外で使用された場合。
 - ⑩当社及び当社販売代理店以外からご購入された場合。
- ①製品の故障等により発生した食材の損害、製品故障中に使用できなかった事により発生した営業利益保証、又は、慰謝料等の請求は保証の対象ではありません。
 - ②保証対象は製品本体のみとなります。製品の交換等にかかる機器の搬出入、据付、その他取り外し、取り付け、設備工事等の費用は保証の対象ではありません。
 - ③無料修理、製品交換において、高額な費用が発生すると当社が判断した場合、お買い上げ金額を返金する場合があります。但し、お買い上げ品の搬出、処分等の費用は保証の対象ではありません。
 - ④離島、遠方地域等で、航空機、船舶等の交通機関を使用、又は宿泊がともなう場合、交通費、宿泊費、日当等は、お客様の実費負担となります。
 - ⑤保証期間経過後の修理について、修理によって機能を維持できる場合は、有料修理致します。
- この保証書は、再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管して下さい。



冷凍ストッカー 取扱説明書

JCMC-142 / 206 / 266 / 310 / 385 / 556 / 605 / 755



目次

- P1,P2 安全上のご注意
- P3 各部名称とはたらき
- P4 据付と確認・運転の前に・運転、停止のしかた
- P5 上手な使い方・内外装のお手入れ・霜取りについて
- P6 施錠のしかた・このようときには
- P7 移設、廃棄、譲渡について・保証とサービス
- P8・P9 製品仕様一覧表
- P10 製品保証書

- このたびは冷凍ストッカーをお買い上げいただき誠にありがとうございました。
- この製品を正しく安全にお使いいただくためにご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき十分に理解してからご使用ください。
- 安全上のご注意はご使用前に必ずお読みください。
- お読みいただいたあとはいつも手元に置いてご使用ください。